

山本 章正



学校法人実践女子学園理事長

10年間理事長を務めた井原徹氏の退任に伴い、4月1日付で山本章正氏が新理事長に就任した。

山本新理事長は1950年愛知県生まれ。1972年慶應義塾大学法学部を卒業後、トヨタ自動車に入社し、ドイツトヨタ財務役、米国トヨタ上級副社長などを歴任。2004年中央発條常務取締役、2006年同専務取締役を歴任。その後、2007年日野自動車常務取締役、2008年専務取締役、2013年から

は常勤監査役を務めた後、2015年に退任。実践女子学園では2008年4月から2013年5月まで学外理事を務め、2017年に常務理事に就任し、現在に至る。

実践女子学園は、近代女子教育の先駆者である下田歌子の「女性が社会を変える、世界を変える」という建学の精神の下、1899（明治32）年に創立された。私立実践女子校・女子工芸学校として入学者わずか40名でスタートしたが、中学から大学院までの一貫した教育組織を持つ女子教育機関として発展し、これまでに17万人の卒業生を送り出してきた。山本新理事長は、「今後、少子化やグローバル化によりさらなる経営環境の変化が予想されるが、創立120周年に向けて整備してきた経営基盤の上に、成長に向けた改革を加速すること、学園の価値を高めていく」と抱負を述べた。

針本 正行



國學院大學学長

赤井益久前学長の任期満了に伴い、4月1日付で針本正行教授が学長に就任した。任期は令和5年3月末までの4年間。

新学長は昭和26年東京都生まれ。49年國學院大學文学部文学科卒業、54年同大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学。博士（文学）。平成8年同大学院文学部助教教授、12年教授となる。21年から文学部長（25年まで）、学校法人國學院大學理事（現職）、23年から副学長（31年3

月まで）を務める。専門は平安時代文学。主な著書に『平安女流文学の研究』（桜楓社）、『平安女流文学の表現』（おうふう）がある。

本学は、令和4年の創立140周年に向け、平成29年に策定した中期計画「21世紀研究教育計画（第4次）」の実現に取り組んでいる。同計画では、大学の将来像に「人文・社会科学系の『標』となる」を、教育目標に「主体性を持ち自立した『大人』の育成」を掲げる。「大人」は「考える力」「悩む力」「多様性を受け入れ生き抜く力」とも解釈される。新学長は、さらに「問い直す力」を加えたいと話す。人工知能（AI）の時代を迎え、社会構造、就業構造の変化が不可避なものとなる中、これまで「正解」とされてきた「知」を素朴に疑う「問い直す力」を培うことを教育の根幹に置き、大学運営を進める。

高祖 敏明



聖心女子大学学長

岡崎淑子前学長の任期満了に伴い、2019年4月1日付で高祖敏明が新学長に就任した。任期は4年。

高祖学長は1947年広島県生まれ。1971年上智大学文学部哲学科卒業、同大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程を満期退学後、上智大学文学部助手、講師、助教授を経て、1991年に教授に昇格し、上智学院理事長、上智短期大学学長などの役職を務めてきた。

専門分野は比較教育史。著書は『東

洋の使徒 ザビエル』『ルネサンスの教育思想』上・下巻ほか多数。文部科学省中央教育審議会専門委員、日本学術会議大学教育の分野別質保証に係る委員会委員、大学改革支援・学位授与機構評議員など、多くの団体の役員・評議員を歴任。

イエズス会司祭でもある高祖学長は、早くから学校法人聖心女子学院と縁が深く、1990年から聖心女子学院カトリック女子教育研究所企画運営委員を6年間務めたほか、2018年には同法人の理事に就任した。2019年4月に現代教養学部として新たにスタートした聖心女子大学で、これまでの歴史と伝統を礎に、21世紀のリベラルアーツ大学づくりに取り組みることが期待されている。高祖学長は、予測不可能な時代において、人間の尊厳を認め合い、高め合っ

てグローバルなマインドを養い、地球家族が共生する社会の担い手を育てたいと語っている。

大西 晴樹



東北学院大学学長

松本宣郎前学長の任期満了に伴い、4月1日付で第6代学長に就任した。

大西新学長は1953年北海道生まれ。法政大学法学部卒業、明治大学大学院政治経済学研究所博士前期課程修了、神奈川大学大学院経済学研究科博士後期課程満期退学。1983年明治学院大学経済学部講師に就任、1993年同教授、2004

年同学部長、2008年同大学学長、2012年学校法人明治学院学長、2014年教授に戻り、このたび東

北学院大学学長に迎えられた。

前任校学長時代に創立150年記念事業の遂行、留学生の受け入れと派遣、キャリア教育の充実、新学部の設立などに尽力し、日本私立大学連盟理事を務め、2012年から文部科学省高等教育局私学部参事官付学校法人運営調査委員を務めている。

専門分野は近代イギリス社会経済史研究であり、『イギリス革命のセクト運動』（御茶の水書房）で博士号を取得、『海洋貿易とイギリス革命』（法政大学出版局）を本年上梓した。キリスト教史学会理事長を9年間務め、『ヘボンさんと日本の開化』（NHK出版）、キリスト教学校教育同盟『百年史』の編纂委員長の経験から『キリスト教学校教育史話』（教文館）を出版している。

東北学院大学学長として、創立150年に向けた東北学院中長期計画「TC Grand Vision 150」の着実な実施が求められている。

城島栄一郎 実践女子大学：実践女子大学短期大学部学長。東京工業大学理工学研究科繊維工学専攻博士課程単位取得退学。工学博士。実践女子大学生活科学部長を経て、'17から現職。

井出健治郎 和光大学長、経済経営学部教授。早稲田大学大学院、東京医科歯科大学大学院

いずれも博士課程単位取得。'98和光大学着任、'18から現職。

祖父江健一 青山学院大学進路 就職センター進路・就職部長。愛知県滝高校出身。'81青山学院大学卒。男子寮副寮監、教研システム部門、中等部事務長を経て、'18から現職。

田澤実 法政大学キャリアデザイン学部准教授。'07中央大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程単位取得退学。博士（心理学）。専門は生涯発達心理学、教育心理学。

松木健一 学校法人専修大学専務理事。'73専修大学法学部卒。専修大学入職後、国際交流事務課長、総合企画広報室長、学長室長を経て、'06常務理事、'15から現職。

内山秀一 東海大学教育学部長、体育学部教授。'93東海大学大学院医学研究科機能系専攻単位取得満期退学。博士（医学）。主著『健康・フィットネスと生涯スポーツ』（共著）など。

兼高聖雄 日本大学芸術学部教授。'90慶應義

塾大学大学院社会学研究科博士課程修了。社会心理学・メディアコミュニケーション論専攻。主著『コミュニケーション学入門』ほか。

高松香奈 国際基督教大学教養学部上級准教授。'08東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程単位取得退学。博士（国際協力学）。

下田啓 早稲田大学法文学術院教授。米国ハーバード大学大学院博士課程修了。博士（日本史）。米国バツサー大学歴史学科助教授などを経て、'12から現職。専門は日本近現代史。

安食真城 龍谷大学宗教部課長。龍谷大学文学部卒。'14から現職。

三枝麻由美 名古屋大学男女共同参画センター准教授。'06イリノイ大学大学院社会学研究科修了。Ph.D.（社会学）。 Lund 大学を経て、'11から現職。専門はジェンダー平等。

山田創平 京都精華大学創造戦略機構ダイバー

シティ推進センター長。名古屋大学大学院博士課程修了。博士（文学）。編著書に『たたかう LGB T & アート』（法律文化社）など。

神谷悠一 LGB T 法連合会事務局長。東京都豊島区男女共同参画苦情処理委員。一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。修士（社会学）。

愛知太郎 学校法人東洋学園理事長。東京大学工学部卒、東北大学大学院環境科学研究科博士課程後期修了。同和鉱業㈱などを経て、'16から学校法人東洋学園評議員、'17から現職。

吉田竹也 南山大学副学長（教学担当）、人文学部教授。南山大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（人間科学・大阪大学）。専門は文化人類学。

北條英勝 武蔵野大学教務部長、人間科学部教授。'98 東洋大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得退学。修士（社会学）。

平山喜雄 法政大学教育支援本部統括本部長・学務部長。'86 法政大学法学部法律学科卒。'87 法政大学入職、学務部、総務部などを担当し、学務部教育支援課長を経て、'14 月から現職。

藤田喜郎 芝浦工業大学工学部電気電子学群電気工学科教授、工学部長補佐。'97 法政大学工学部電気工学専攻博士課程修了。博士（工学）。専門は電力システム工学。

岡原宏一 '87 監査法人中央会計事務所入所後、公認会計士岡原事務所開設。日本公認会計士協会 学校法人委員会元委員。

井上慶太 成蹊大学経済学部助教。'18 一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了。博士（商学）。主著「グループ内の協働における管理会計」『原価計算研究』第42巻第1号など。

上林憲行 武蔵野大学データサイエンス学部長。Musashino University Smart Intelligence Center 長。慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了。工学博士。

保坂邦夫 学校法人昭和女子大学学園本部広報部部長。同大学入試広報課長、学校法人企画・広報部長を経て現職。

佐藤 輝 フェリス女学院大学国際交流学部教授。'00 東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程修了。博士（農学）。環境・資源学専攻。主著『ソーラータッカーを作ろう』ほか。

小林哲郎 神戸女学院大学人間科学部教授。'84 京都大学大学院教育学研究科指導認定退学。博士（教育学）。京都大学を経て、'07 から現職。

岡田龍樹 天理大学副学長（社会連携・学生支援担当）。'89 広島大学大学院教育学研究科博士課程退学。修士（教育学）。'91 から天理大学。人間学部人間関係学科生涯教育専攻教授。

黒川光博 東京都出身、学習院大学卒。富士銀行（現みずほ銀行）勤務を経て虎屋に入社、'91 から同社代表取締役社長。全国和菓子協会会長、全日本菓子協会副会長、一般社団法人日本専門店協会会長などを歴任。著書に『虎屋 和菓子と歩んだ五百年』。幼少から親交のあった寛仁親王殿下のご著書『今ペールを脱ぐ ジェントルマンの極意』では服飾談義を展開している。

脇浜紀子 京都産業大学現代社会学部教授。神戸大学法学部卒。'90 読売テレビ入社。'10 大阪大学大学院国際公共政策博士号取得。研究分野は地域メディアと地域情報。

（お断り）本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長の動き 2019年
3月▽4月

- 3月5日(火) 第11回常務理事会に出席
- 3月19日(火) 第11回理事会、第3回春季総会に出席
- 3月27日(水) 日本私立大学団体連合会第118回役員会、第83回総会に出席
- 3月29日(金) 日本テレビの取材
日本テレビから取材を受け、少子化が進む中、私立大学の役割の重要性について説明しました。
- 4月9日(火) 自民党教育再生実行会議「憲法における教育課題を考えるプロジェクトチーム」のヒアリングに対応
自民党の教育再生実行会議「憲法における教育課題を考えるプロジェクトチーム」のヒアリングに対応し、「高等教育に対する公財政支援の現状と課題——私立大学を中心に——」と題する講演を行いました。
- 4月11日(木) 第1回記者懇談会・懇親会に出席
私大連では提言「新たな時代の就職・採用のあり方と大学教育——未来を拓く

多様な人材育成に向けて——」をとりまとめ、会長をはじめとする役員により、記者懇談会を開催しました。

懇談では、就職・採用活動をめぐる諸問題や、教育の質保証と学修成果の可視化など、現在の私立大学を取り巻く課題について、活発な意見交換、質疑応答が行われました。



会長・役員と報道関係者との懇談の様子

- 4月15日(月) 日本経済団体連合会に私大連提言「新たな時代の就職・採用のあり方と大学教育——未来を拓く多様な人材育成に向けて——」について説明・意見交換
- 4月16日(火) 第1回常務理事会・理事会に出席

● 4月22日(月) 日本経済団体連合会「採用と大学教育に関する産学協議会」に出席
柴山文部科学大臣および主要国会議員に私大連提言「新たな時代の就職・採用のあり方と大学教育——未来を拓く多様な人材育成に向けて——」を手交



柴山文部科学大臣に
提言「新たな時代の就職・採用
のあり方と大学教育」を手交

私大連

ウェブサイトをリニューアル

私大連では、より見やすく使いやすいウェブサイトを目指して、3月末にウェブサイトをリニューアルしました。

<https://www.shidaren.or.jp/>



奇数月20日（年6回）刊行

●WEBサイトにて、全文無料公開中

※第324号（2009年1月発行）から
詳細は

<https://daigakujihou.shidaiaren.or.jp/>



第382号（2018年9月発行）

【特集】

自校史と大学博物館



【座談会】
IRの実践の現状
【インタビュー】
善竹富太郎氏（大蔵流狂言師）

第383号（2018年11月発行）

【特集】

大学は自然災害とどう向き合うか



【座談会】
地方自治体と大学の就職
に関する協定締結による
地域活性化への期待
【インタビュー】
石村 一枝氏（株式会社石
村萬盛堂専務）

第384号（2019年1月発行）

【特集】

入学前教育の現状と課題



【座談会】
教職協働の現状と課題
【インタビュー】
新田 晃千氏（カバディ
日本代表選手）

第385号（2019年3月発行）

【特集】

進化する『キャンパス』



【座談会】
私立大学におけるキャン
パスのあり方
【インタビュー】
大迫 友紀氏（ガラス作家）

大学時報 年間総目次 第380号(2018・5) ◆ 第385号(2019・3)

第380号(2018・5)



クロースアップ
インタビュー
北 義則さん

指して

利用を疑似体験するRPG型ガイドランス——図書館利用教育プログラム「Libarry」

寺島哲平

ラーニングコモンズを超えて——千葉大学アカデミック・リンクのこれまでとこれから

竹内比呂也

ずいそう 本を読み音楽を聴く人間の声

梅本 裕

小特集 海外留学体験の効果測定に対する取り組み——海外短期派遣プログラムを中心に——

留学体験の客観的測定——BEVIを用いて——

西谷 元

目的を明確化した効果測定を目指して——池田伸子

海外短期留学の効果測定手法を考える——量的・質的アプローチの有用性

鈴木理恵

学部留学効果測定——グローバル人材育成における学部留学の効果

吉岡大輔

文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業(主体性等分野)について——学力三要素をどのように評価するか——

尾木義久

地理歴史科・公民科入試のゆくえ——文部科学省

山崎一穎(跡見学園)／阿久戸光晴(福岡女学院大)

委託事業の現場より

佐藤正志

私の授業実践——教育現場の最前線から

国語から文学へ——疑り深さの獲得 戸塚 学

明日への試み

広島女学院大学人文学部

いま、あえてなぜ人文学部か——女性の一生涯を視野に入れた改革 湊 晶子

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

日本初の女子薬専設立者、秋山卓爾先生——ご家族と私の出会い・大阪薬科大学 春沢信哉

加盟校の幸福度ランキングアップ(オープンエデュケーション編)

学生制作番組「多摩探検隊」の放送・配信——15

年目を迎えて——中央大学 松野良一

動画配信への取り組みと課題——明治大学 中村 達

オープンオンライン講座の入試活用を考える——東

海大学 川上哲太郎

クロスアップ・インタビュー

株式会社トーカ堂代表取締役 北義則さんに聞く

(聞き手) 脇浜紀子

新会員代表者紹介

山崎一穎(跡見学園)／阿久戸光晴(福岡女学院大)

山崎一穎(跡見学園)／阿久戸光晴(福岡女学院大)

新会員代表者紹介

山崎一穎(跡見学園)／阿久戸光晴(福岡女学院大)

巻頭言 大きく変化する社会で花開くために

川島明子

巻頭論文 わが国における医学教育の現状と課題

新井 一

座談会 私立大学における女性のキャリア形成

塘利枝子／武石恵美子／石川康宏／肥塚直美／(司

会) 兼高聖雄

特集 大学図書館最新事情

ピーコアプリによる施設利用促進

村居昌俊

知の劇場を目指して——アカデミックシアターを

利用した新しい学習環境づくり 岡友美子

図書館建築キャンパスプロジェクト 竹内康弘

「学びが見える、学びに触れる、学びあえる」を目

学／郭 洋春（立教大学）／佐伯孝弘（清泉女子大学）／茂里一紘（東京女子大学）
新学長紹介
 ウスビ・サコ（京都精華大学）

表紙・大学点描 園田学園女子大学

だいがくのたから 清泉女子大学

第381号（2018・7）



クローズアップインタビュー
 福田洋之さん

巻頭言 創立100周年、そして次の100年

巻頭論文 守るために変わる 塩崎千枝子

座談会 未来を先導する私立大学の将来像

田中優子／鎌田 薫／村田 治／（司会）松岡 敬
 私立大学の将来構想『未来を先導する私立大学の将来像』を公表

特集 留学（海外送り出し）に伴う問題への取り組み

海外留学を取り巻く現状について——大学における海外留学に関する危機管理ガイドライン
 齋藤 潔

開発途上国への学生派遣とリスクマネジメント
 關谷武司

国際人材育成の課題と取り組み
 岡村久和

留学派遣に伴う危機管理の取り組みについて
 島田幸司

「より質の高い留学体験」を目指して——留学（送り出し）の現場から見る問題とその取り組み
 日野好幸

日本アイラック社を利用した危機対応
 田中久博

すいそく 私学経営の難しさ
 中川日出男

小特集 海外大学とのダブルディグリー・プログラムの現状と効果
 ダブル・ディグリーの現状と展開——早稲田大学の事例より
 眞谷国光

あらたな「グローバル法務人材」育成のために
 新井 京

学生の夢を応援——大東文化大学におけるダブルディグリー・プログラムについて
 吉田慶子

パラレル・ディグリー・プログラムの仕組みと狙い
 東郷 賢

私の授業実践——教育現場の最前線から

「分かって・できる」身体運動
 小室輝明

「良き隣人」になるために学ぶ——現代人の心理・社会的課題と支援を学ぶ聖学院大学心理福祉学部
 古谷野豆

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史
 「本当の教育」を目指してきた100年——新たな

一世紀を歩む成城大学・成城大学
 大友浩一

加盟校の幸福度ランキングアップ《ポランティア編》
 ボランティアルームの地域支援と学生支援・皇學館大学
 叶 俊文

大学ポランティアセンターの役割と可能性・聖学院大学
 川田虎男

一人一人の「点」を「線」につなぎ、つむぐ活動・西南学院大学
 山口由美子

クローズアップ・インタビュー
 順天堂大学スポーツ健康科学部准教授、体操競技部コーチ 福田洋之さんに聞く
 （聞き手）川島 葵

新会員代表者紹介
 三上貴教（修道学園）／斉藤言子（神戸女学院）／川久保清（共立女子学園）／岡本英男（東京経済大学）

表紙・大学点描 東京女子大学
だいがくのたから 聖心女子大学

第382号 (2018・9)



クロスアップ
インタビュー
善竹富太郎さん

巻頭言 すこやかな「次代」と「人」を創る研究
拠点大学へ 永田見生

巻頭論文 仏教系大学の未来に思う 齊藤 昇

座談会 IRの実践の現状
山田礼子／相生芳晴／森 朋子／山本幸一／(司
会) 山田健太

特集 自校史と大学博物館

140年の歩みを体感する空間——立教学院展示館の試み 豊田雅幸

学院資料・村岡花子文庫展示コーナーと自校史の展開——「小規模」「後発」を乗り越えて——

松本郁子

大学史を基軸に研究、教育と公開事業——日中を懸けた東亜同文書院から愛知大学へ——
田辺勝巳

日本文化の研究・教育・発信拠点としての博物館
渡邊 卓

過去・現在・未来をつなぐミュージアム——早稲
田大学歴史館について——
尾崎健夫

自校史は大学博物館のミッションか
橋爪節也

すいそう あるべきバランス
大村雅彦

小特集 新入生イベントの今
新入生歓迎の集いで友達づくりを応援——成功の
秘訣は主催者のパッションと「手づくり」の味
川畑一成

学生が主役！ 新入生歓迎パーティー 伊藤 大
ピア・サポートとしての新入生歓迎企画——阪南
大学学生会による「Campusart 2018」の開
催—— 権 瞳

新入生を大学の一員として一体化するイベントと
は——「OGU Welcome Festival」の取り組み
堀之内一徳

総合教育政策局の設置について
文部科学省生涯学習政策局

私の授業実践——教育現場の最前線から
理解を深める授業構成の模索
西川佳男

明日への試み
大谷大学社会学部
地域で学び、地域を学ぶ——「共」の実践から学
びの改革へ 志藤修史

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史
文明開化、産学協同、第四次産業革命へ・東洋大学
吉田善一

加盟校の幸福度ランキングアップ《ポランティア編》
「しのモン応援隊」という自分探しの旅／学生の主
体形成を支えるポランティア／・松山東雲女子
大学 水島祥子

ポランティアを通じた成長機会の提供・成蹊大学
久米 隼／伊藤克容

建学の精神に基づいた活動を目指して・清泉女子
大学 岡戸良子

クロスアップ・インタビュー
大藏流狂言師 善竹富太郎さんに聞く
(聞き手) 外川智恵

新会員代表者紹介
福原紀彦(中央大学)／田上博司(阪南大学)／小
尾敏夫(文理佐藤学園)

表紙・大学点描 久留米大学
だいがくのたから 共立女子大学・共立女子短期
大学



クローズアップインタビュー
石村一枝さん

巻頭言 BeReal 寄りそう知性 木越 康

巻頭論文 教と種類が多様化する日本の大学の行方 Oussaby SACKO

座談会 地方自治体と大学の就職に関する協定締結による地域活性化への期待

佐々木宏／水島久光／清水克弥／青木 隆／(司会) 音 好宏

特集 大学は自然災害とどう向き合うか

大学は自然災害とどう向き合うか——関西大学の取り組みの紹介を兼ねて—— 安部誠治

西日本豪雨災害への対応について 本廣賢吾

自然災害への備え／平成28年(2016年)熊本地震の教訓／ 井上博司

大学生機能別消防団結成を人材育成へ 白幡 晶
地域・行政・大学・大学病院による合同防災訓練

——現状と課題—— 菊地光男

自然災害とボランティア活動——相互連携による防災活動で学生の成長を促す—— 八田浩康

すいそう 分岐点 貫 正義

小特集 魅力ある大学院をどうつくるか
多様性への長期的投資の果実——上智大学大学院 グローバル社会専攻 JAMES FARRER 児玉耕太

社会のための科学技術を目指して 濱田勝宏
現代ファッションと日本文化の融合 クリエイティブ・リーダーシップ育成へ——創造

的思考力の社会化にチャレンジ 長澤忠徳
知られていない消費税——驚がくの事実——

『第15回大学生生活実態調査』から読み解く現代学生像 岡原宏一

私の授業実践——教育現場の最前線から 北條英勝

ものづくりの楽しさを伝える 南部絃一郎

明日への試み 跡見学園女子大学心理学部 公認心理師(国家資格)養成元年 野島一彦

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史 創立100周年に向けて／グローバル化展開への

礎／ 芝浦工業大学 早乙女徹

加盟校の幸福度ランキングアップ(保育所(託児室))

事業所内保育所(託児室)のご紹介・上智学院 土持和久

託児所の設置と子育て支援・共立女子学園 川久保清

ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して・創価大学 島田 勉

クローズアップ・インタビュー 株式会社 石村萬盛堂・専務 石村一枝さんに聞く (聞き手) 脇浜紀子

新会員代表者紹介 因田義男(名古屋学院大学) 表紙・大学点描 大谷大学

だいがくのたから 関東学院大学

第384号(2019・1)



クローズアップ
インタビュー
新田晃千さん

年頭所感 リーディングオীগニゼーションとしての役割
鎌田 薫

巻頭言 看護教育100年に向けて
福井次矢

巻頭論文 それでもなお人格教育を目指して——
田畑邦治

人材教育の趨勢の中で——

座談会 教職協働の現状と課題

北條英勝／西川幸穂／吉川倫子／三浦 暁／司

(念) 音 好宏

特集 入学前教育の現状と課題

多文化学習環境へのスタートダッシュ——APU

における入学前留学ACCESSプログラムの

取り組み——五十峰聖／大久保隆／河野修平

入学前教育——新たなeラーニング 保護者・学

生・大学による三位一体の取り組み 花光 清

アスリートを対象とした入学前教育——順天堂大

学スポーツ健康科学部の取り組み——

吉村雅文／青木和浩

入学前教育から高大接続や地域における人材育成

への転換

星野次郎

入学前教育と初年次教育の連携——流通科学大学

の「気づきの教育」への円滑な移行と準備

南木陸彦

入学前教育の焦点はシフトしている——入学前教育

を充実させる観点の整理——

及川 愛／石田あずみこ

すいそう 大学理事長に就任して

松原道一

小特集 大学Webサイトリニューアルの取り組み

ターゲットに合わせた情報の切り分け——立教大

学公式サイトのリニューアル——小嶋 顕

Webサイトで伝える「献学の理念」 橋本明子

大学ホームページを全面リニューアル／大学広報・

ブランドニングの有力なツールとして位置付け

直す—— 松本 崇

スマホで変わるデザイン、変わらぬ役割 橋本敏彦

私立大学フォーラム2018——「未来を先導す

る私立大学の将来像——2040年を見据えた

私立大学の大学改革と人材育成——」総括

私の授業実践——教育現場の最前線から

学生との対話というとなみ 齋藤公太

明日への試み

東海大学健康学部

新しい時代へ向けた健康学部の挑戦 堀真奈美

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

大学と学院創立100周年——西南学院大学

金丸英子

加盟校の幸福度ランキングアップ(厚生施設編)

高原の美しい自然環境の中で研修を・ノートルダ

ム 清心女子大学 本保恭子

豊かな自然に恵まれた軽井沢研修所・立正大学

工藤宣弘

クローズアップ・インタビュー

カバディ 日本代表選手 新田晃千さんに聞く

(聞き手) 川島 葵

新会員代表者紹介

大島正克(亜細亜大学)／太城力良(兵庫医科大学

学)

表紙・大学点描 聖路加国際大学

だいがくのだから 流通経済大学

第385号(2019・3)



クローズアップ
インタビュー
大迫友紀さん

巻頭言

人物教育のクオリティ・リーダーとして

巻頭論文

時代状況急変に対処すべき私立大学

長坂悦敬
阿久戸光晴

座談会

私立大学におけるキャンパスのあり方

吉原健二／富田 勝／池上岳彦／岩崎克也／(司会) 音 好宏

特集 『進化する『キャンパス』』

都市機能の一翼を担う、挑戦するキャンパス

富増和彦

社会につながる未来型キャンパスの発進／学生支援

援・社会連携・教育研究支援の拠点として

田中一郎

兵庫県美方郡香美町サテライトスタジオでの取り組み

——但馬地域と園田学園女子大学——

まちなかキャンパス化のビジョン

大江 篤
山田耕太

これからの社会的課題に向き合うキャンパス／金

沢工業大学 白山麓キャンパス／河合儀昌

地域と協働で育むキャンパス 及川清昭／池田 伸

すいそう 改元に思う／山崎一類

小特集 社会人・企業向け講座のいま

Tsuda Open University: Global Education and Sustainable Development Program 田近裕子

「人生100年時代の学び」を目指して——ライフ

ステージに寄り添う教育モデルとは——

守口 剛

「ビジネスプログラム」での学びと成果／明治大学

リバティアカデミー20年の歩みとともに／

小川智由

社会人向け講座の取り組み

中央大学経理研究所事務室

私の授業実践——教育現場の最前線から

教えずぎない授業の模索

小林大祐

明日への試み

大東文化大学社会学部

「間」に立つ社会学部を目指して

馬場靖雄

わが大学史の一場面——日本の近代化と大学の歴史

『時事新報』の創刊・慶應義塾大学 井奥成彦

加盟校の幸福度ランキングアップ（地方創生・地域活性編）

高大産連携による地域活性化への挑戦・石巻専修

大学 外井道晴

「加古川『知』を結ぶプロジェクト」の展開につい

て・甲南大学 松下賢一

地域デビュープログラム「町家deうどん」・龍谷大

学 石原芳典

クローズアップ・インタビュー

ガラス作家 大迫友紀さんに聞く

（聞き手）外川智恵

新会員代表者紹介

G・W・パークレー（西南学院大学）

表紙・大学点描 甲南大学

だいがくのたから 聖カタリナ大学・聖カタリナ

大学短期大学部

座談会 「私立大学におけるインターンシップ推進を振り返る」
 特集 「学生寮を活用した国際交流、グローバル人材育成の取り組み」
 特別掲載 「大学スポーツ振興の社会的意義
 —大学スポーツ協会 (UNIVAS) の設立」

表紙・大学点描 ノートルダム清心女子大学 だいがくのたから 聖学院大学
 クローズアップ・インタビュー：
 「武下 利一さん (トナミ運輸バドミントン部アシスタントコーチ)」

編集後記

◆きやりーばみゅばみゅさんの「もんだいガール」という曲、少し前のリリースだが、かつこいいサウンド&ビジュアルとともに強烈なパンチのある歌詞が飛び込んでくる。アーティストと制作陣のすごさを感じる。年甲斐も無く好きなアーティストなのだ、この曲は他とすこし「違う」のだ。著作権のこともあるので歌詞まで書かないが、聴けば聴くほどさまざまな思考が巡る。人と「違う」ということは、そもそも「多様性」のひとつに過ぎない。分かっているながら？ 行動できているだろうか。

実は、今号の特集の企画は過去に一度出したが成案には至らなかった。リサーチしたまままだ理解や把握できていないと感じてしまった。しかも加盟校への情報提供の経路は果たせないと思いき直し、再提案となった。

原稿を拝読し、「SOGI」の観点もテーマに盛り込むべきだったなど、いろいろ反省し振り返っている。ご寄稿に感謝するとともに、自己

点検と議論を通じ、さらなる意識の共有と理解醸成に取り組んでいきたい。(広報・情報部門会議(大学時報)委員・関西大学総合企画室広報課長 依藤 康正)

◆2013年度教育再生実行会議「これからの大学教育等の在り方について」(第三次提言)を受け、これまで学事層の多様化、クォーター制導入などの議論が各大学で行われたと考える。しかし改革に至った大学は多くない。

学事層の見直しは①国際化対応(海外派遣促進、留学生・海外の教員招聘促進など)、②学びの質向上(学生の集中的な学びによる学習効果向上、授業方法の転換、科目履修の系統化・可視化、科目削減など)③教育体制(教員の研究時間確保、専任率向上など)といった効果が図れる一方、教室条件や履修システム(授業時間、受講登録・成績評価、試験時間確保など)、非常勤教員確保など、検討すべき課題も多い。今号の小特集にこの執筆いただいた4大学の先進事例が、多くの大学の議論を進めるものとなればと思う。

私事であるが、2019年4月に広報課から学生部に異動した。2017年4月から

大学時報の編集に携わった2年間、委員の方々をはじめ、関係者の皆様にさまざまなご指導をいただいたことに深く感謝申し上げます。(広報・情報部門会議(大学時報)委員・立命館大学学生部衣笠登生学オフィス課長 五坪 智彰)

◆平成から令和へ。5月後半を迎え、新元号も新鮮味は残るものの私たちの生活になじんできた。平成の30年は、社会と呼応するように大学も多様性の下に激動の時代だったといつてよいのだろうか。

もちろん普遍的であったり古くて新しい課題もある中で、今号で取り上げたLGBTやクォーター制のように、大学で新たに取り組みが始まるキーワードは途切れることがない。

まさに今号のクローズアップ・インタビューで黒川氏がお話しになっている「時代の要請」なのである。

室町時代から続く和菓子のお虎屋は、創業500年。実に5世紀を超える老舗中の老舗だ。大学の営みに置き換えても、示像に富む同社の歩みや黒川氏からのメッセージをぜひ一読いただきたい。(日本私立大学連盟事務局 権藤 和代)

(125大学 令和元年5月20日現在)

Table listing 125 private universities in Japan, organized by name (A-Z). The list includes names like 愛媛大学, 知徳大学, 大東学院, etc., with some names followed by a large right curly bracket indicating affiliations.

大学時報 2019 5月号

第68巻386号(通巻400号) 令和元年5月20日発行

編集人 音好宏 (上智大学文学部教授)
発行人 松岡敬 (同志社大学学長)
発行所 一般社団法人日本私立大学連盟
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学會館別館
電話 03-3262-4362 FAX 03-3262-4363
https://www.shidaiaren.or.jp
編集 株式会社進研アド
〒530-0003 大阪市北区堂島2-4-27
新藤田ビル

須山藤井上 高野柳坪田崎盛木藤藤部
智徳映正幸徳 (法政大学多摩事務部学務課学務担当主任)
(上智大学総務局SGU事業推進室長)
(関西大学総合企画室広報課長)
(関西学院大学法学部事務長)
(慶應義塾大学法学部教授)
(南山大学外国語学部教授)
(日本大学芸術学部教授)
(立教大学広報室長)
(立命館大学総合企画部広報課長)
(立命館大学生部衣笠学生オフィス課長)
(専修大学文学部教授)
(園田学園女子大学教学支援部教務課課長)
(大正大学事務局長)
(早稲田大学広報室副室長)
(日本私立大学連盟事務局)
(日本私立大学連盟事務局)
(日本私立大学連盟事務局)

